

# 音楽とスポーツの一体化を願う試み

## A Tentative to wish integration of music and sports

1K05A138

指導教員 主査 太田章先生

田中 吾郎

副査 葛西順一先生

### 【１．序論】

スポーツと音楽という二つの文化は人類が最も長く、大切にしてきた文化ではないだろうか。私は幼少時からこの二つの文化に多く触れてきた。そんな中で常々感じていたことは、「音楽はスポーツに似ている」ということであった。二つの文化は多くの人に重要な文化であり、仮に共通点があれば提示しておく必要があるのではないだろうか。

一見全く違う形態の文化に見えるが非常に結びつきが強く、フィギュアスケートやシンクロナイズドスイミングのように両文化が融合しているものもある。兄弟のような関係にあるスポーツと音楽。この二つの文化の密接な関係を検証し、両者の本質的側面を比較する。

### 【２．スポーツと音楽の密接な関係】

古代オリンピックにおいて陸上競技や格闘技などのスポーツ種目が行われる一方で音楽は芸術競技として行われていた。以来現代にいたるまで音楽とスポーツの密接な関係は続いている。

スポーツをするときに音楽を聴く選手は多い。「音楽とスポーツに関する意識調査」というアンケートでは音楽を聴くことはスポーツする際のパフォーマンスを高めることに効果があると答えた人は実に91.5%であった。また、どのようなジャンルの音楽を聴くと足が速くなりそうかという質問では洋楽のロックがトップであったことから歌詞の内容などよりも、曲調が身体に影響を与えていると考えられる。

### 【３．スポーツと音楽の比較】

スポーツも音楽も身体動作である点で変わらないため、音楽家も身体を鍛えることが必要になる。また、音楽はスポーツと同様に高度な情報処理を脳で行っている。スポーツと同様に音楽においてもフロー状態があり、活動意識が下がり、自分の演奏や歌が完全な自動演奏のように感じることもある。

スポーツも音楽も文化であると同時にビジネスである。文化を継続させるにはお金が必要になるが、日本においては両分野とも金銭面でうまくいっているとは言い難い。現状ではスポーツに親しむ人に比べ、音楽を親しむ人は少なく、興行的に見ても小さい。

### 【４．考察】

音楽とスポーツは共通点が多いため、相互作用があると考えられる。例えばリズム感覚の優れた選手は身体を動かすタイミングを調節できるため、各種動作の上達が早いはずである。逆にスポーツにより様々な動作を経験することは音楽家の技術の進歩に関係してくる。また、両文化は人格の育成にも役立つと考えられる。スポーツをしている子供の方が早く礼儀を覚え、音楽をしている子供の方が早く自己の内面と向き合うのではないだろうか。

### 【５．まとめ】

スポーツと音楽は切り離すことのできない相互補完的な文化である。また、人間の健全な成長には両方必要でそのバランスが大切である。

日本政府が行った事業仕分け(2009)により音楽業界とスポーツ業界の予算は削減が妥当であると判定されたが、最も重要と考えられるこの二つの文化がこれからも大切にされ、発展していくことを強く望む。